山梨県DX推進イメージキャラクター『DX信玄くん』の使用に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、山梨県（以下「県」という。）のDX推進を目的としたイメージキャラクター『DX信玄くん』の使用に関して必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規程において『DX信玄くん』とは、県の公式ホームページ（※）に掲載する「DX信玄くん」等のキャラクターをいう。

※ https://www.pref.yamanashi.jp/jouho/dx/dx_shingenkun.html

2 この規程において「デザイン等」とは、『DX信玄くん』のイラスト、画像、動画、立体物及びこれらに準ずるものをいう。

(権利等)

第3条 デザイン等に関する一切の権利は、県に帰属する。

2 本規程に関する事務は、DX課（以下「所管部署」という。）において行う。

(使用許諾の申請等)

第4条 デザイン等を使用しようとする者（以下「申請者」という。）は、あらかじめ県の指定する方法により、次に掲げる資料を添えて山梨県知事（以下「知事」という。）に申請し、その許諾を受けなければならない。

- (1) 申請者の概要が分かる資料（会社案内等）
- (2) 具体的な使用内容が分かる資料（企画書等）
- (3) その他知事が必要と認める資料

2 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、事前に所管部署へ協議することをもって申請に替えることができる。

- (1) 県又は県が構成員となっている団体が使用するとき。
- (2) 県内の地方公共団体又はそれらが構成員となっている団体が使用するとき。
- (3) 県内の学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校が教育の目的で使用するとき。
- (4) 報道機関が報道等の目的で使用するとき。
- (5) その他知事が適当と認めるとき。

(使用許諾)

第5条 知事は、前条の規定による申請があった場合は、その内容を審査し、適当と認めるときは、使用許諾を行うものとする。

- 2 知事は、必要と認める場合は、前項の使用許諾に条件を付することができる。
- 3 知事は、使用の許否を決定したときは、申請者にその内容を通知する。

(使用許諾の制限)

第6条 知事は、次の各号のいずれかに該当する場合は、使用を許諾しないものとする。

- (1) 県又は『DX信玄くん』のイメージを損なうおそれがあると認められるとき。
- (2) 法令又は公序良俗に反するおそれがあると認められるとき。
- (3) 宗教的行事、政治活動等に使用するおそれがあると認められるとき。
- (4) 特定の個人、企業又は商品等を支援し、又は推薦するおそれがあると認められるとき。
- (5) 第三者の利益を害すると認められるとき。
- (6) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）、暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。）、又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者が使用するとき。
- (7) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条に規定する営業を行う者が使用するとき。
- (8) デザイン等の使用によって誤認又は混同を生じさせるおそれがあるとき。
- (9) その他知事が不適當と認めるとき。

(使用上の遵守事項)

第7条 使用許諾を受けた者（以下「使用者」という。）は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 許諾を受けた使用内容のみに使用すること。また、使用許諾に条件を付された場合は、その条件に従うこと。
- (2) デザイン等の変型、縦横比率及び色の改変等を行わないこと（白黒印刷等は除く）。ただし、知事が認めた場合は、この限りでない。
- (3) 使用許諾を受けた制作物の状況が分かる写真等の資料を提出すること。
- (4) デザイン等に近接して次のいずれかの表記を付すこと。
  - ア 山梨県DX推進イメージキャラクター DX信玄くん
  - イ 山梨県 DX信玄くん
- (5) 使用許諾を受けた権利を譲渡し、又は転貸しないこと。

(使用期間)

第8条 デザイン等の使用期間は、許諾を受けた日から知事が必要と認める日までとする。

(使用料)

第9条 デザイン等の使用料は、無料とする。

(許諾内容の変更)

第10条 使用者は、第5条の規定により許諾を受けた内容を変更しようとするときは、あらかじめ県の指定する方法により知事に申請し、その許諾を受けなければならない。

2 知事は、前項の規定による申請があった場合は、その内容を審査し、適当と認めるときは、変更後の内容で使用許諾を行うものとする。

3 知事は、必要と認める場合は、前項の使用許諾に条件を付することができる。

4 知事は、使用変更の許否を決定したときは、申請者にその内容を通知する。

(使用許諾の取消し)

第11条 知事は、次の各号のいずれかに該当する場合は、使用許諾を取り消し、使用者に対し制作物の撤去等の措置を要求することができる。

(1) 使用者がこの規程又は使用許諾に付した条件に違反したとき。

(2) 使用許諾申請又は変更許諾申請の内容に虚偽があったとき。

(3) 使用者が第6条各号のいずれかに該当するに至ったとき。

(4) その他デザイン等の使用が不相当と認めるとき。

2 知事は、使用許諾を取り消したときは、使用者にその旨を通知する。

3 使用者は、第1項の規定により使用許諾が取り消されたときは、取消の日からデザイン等を使用することができないものとする。

4 県は、第1項の規定による使用許諾の取消しにより生じた損害について、一切の責任を負わないものとする。

(損失補償等)

第12条 県は、デザイン等の使用に関して生じた損害について、一切の責任を負わないものとする。

2 使用者は、デザイン等を使用した制作物の瑕疵により第三者に損害を与えた場合は、これに対し全責任を負うものとする。

3 使用者は、デザイン等の使用に際して、故意又は過失により県に損害を与えた場合は、これによって生じた損害を県に賠償しなければならない。

(使用状況の報告等)

第13条 知事は、デザイン等の使用状況について使用者に報告を求め、又は調査することができる。

2 知事は、『DX信玄くん』の利用促進を図るために必要があると認めるときは、その使用状況を公表するものとする。

(規程の改定)

第14条 この規程は、事前の通知なく、必要に応じて改訂する場合がある。

(補足)

第15条 この規程に定めるもののほか、デザイン等の使用に関して必要な事項は、知事が別に定める。

附 則

この規程は、令和6年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。